

Sinfonia

シンフォニア

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.68

2025 3月 - 5月
2025 3/10 発行

TAKE FREE

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団



チェコ・フィルハーモニー管弦楽団



ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団

The Symphony Hall

プラチナコンサート

世界の巨匠とともに 2025



[指揮] アンナ・スウコフスカ - ミゴン



[指揮] セミヨン・ビシュコフ



ともはる
[ピアノ] 牛田智大



[ピアノ] チョ・ソンジン



[ヴァイオリン] 五嶋みどり

The Symphony Hall プラチナコンサート

世界の巨匠とともに 2025

牛田智大、チョ・ソンジン、五嶋みどりら
最高のソリストの饗宴！



Vol.1

2025.8/30 (土) 2:00PM開演
ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演
[指揮] アンナ・スウコフスカ・ミゴン [ピアノ] 牛田智大



Vol.2

2025.10/19 (日) 2:00PM開演
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演
[指揮] セミヨン・ビシュコフ [ピアノ] チョ・ソンジン



Vol.3

2026.3/20 (金・祝) 2:00PM開演
五嶋みどり with ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団 大阪公演
[ヴァイオリン] 五嶋みどり [リーダー] ダニエル・ドッツ

ポーランドを代表するオーケストラ、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団が8月に来日する。シヨパン国際ピアノ・コンクールの本選で演奏するオーケストラとして、放送や音源を通じて彼らの音に接した人も多いだろう。シヨパン・コンクールの本選を担う彼らは、おそらく世界で最もシヨパンのピアノ協奏曲を演奏してきたオーケストラに違いない。今回、そんなオーケストラとシヨパンのピアノ協奏曲 第一番を弾くのは、近年、ますます演奏に進化を感じさせる牛田智大である。牛田は、12歳で、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位を受賞し、CDデビューを飾るなど、早くからその才能が注目されてきた。2018年にワルシャワ国立フィルとも共演しているが、20代半ばになった牛田が彼らとの再共演でどれだけの深まりを示すのかとても楽しみだ。今回、指揮を執るのは、ポーランド出身の女性指揮者アンナ・スウコフスカ・ミゴン。期待の若手指揮者が牛田とどんな新鮮な音楽を披露するのか注目である。また、彼女はドヴォルザークの交響曲 第9番「新世界より」を指揮する。真価を示す演奏となるだろう。

シュコフとともに10月に来日する。このコンビの素晴らしい演奏は、2019年、2023年の日本公演でも実証済み。今回は、チェコ・フィルの十八番であるスメタナの連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」と、ビシュコフがチェコ・フィルとともに取り組んだ「チャイコフスキー・プロジェクト」でも演奏したチャイコフスキーの交響曲 第5番が取り上げられる。どちらも名演が期待される。今回の目玉は、何といても2015年のシヨパン国際ピアノ・コンクールの優勝者であるチョ・ソンジンとの共演である。彼は、2024/25シーズンのベルリン・フィルのアーティスト・イン・レジデンスを務めるなど、現在、世界最高峰のピアニストの一人と目されている。最近リリースした、ラヴェルのソロ・ピアノ作品集のアルバムでも完璧な技巧と洗練された音色を披露。そんな彼がラヴェルのピアノ協奏曲を演奏するのは最高に楽しみである。

そして、2026年3月に、五嶋みどりがザ・シンフォニーホールに帰ってくるのもうれしい。共演は、ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団。五嶋みどりとルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団は、2020年にベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と「ロマンス」第1番、同第2番を残すなど、既に素晴らしいコラボレーションを行っている。昨年のウィーン・フィルの日本公演のソリストを務めるなど、現代最高のヴァイオリニストの一人である五嶋みどりについて説明する必要はないであろうが、2023年1月にザ・シンフォニーホールでデビュー 40周年特別公演を行い、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲で大成を収めたことは記しておきたい。今回のルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団との共演ではメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」を弾く。五嶋みどりは、ヤンソンス指揮ベルリン・フィルとCD録音をするなど、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を得意のレパートリーとしている。演奏に円熟味を増してきた彼女がどんなメンデルスゾーンを聴かせてくれるのか期待せずにはいられない。

(文 山田治生)

良いお席は
お早めに!!

プラチナセット券

毎年大好評! **Vol.1、2、3** の3公演すべて同じお座席で
お楽しみいただけるプラチナセット券をご用意しました。

63,800円

(税込/全3公演通し券)

発売日 シンフォニア会員先行: 3/22 (土)
一般発売: 3/24 (月)



★プラチナセット券のみ、シンフォニア会員先行期間中も電話・WEBに加え、窓口・館内プレイガイドにてご購入いただけます!
※ザ・シンフォニーチケットセンターのみお取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。

プラチナセット券についての
ご案内はこちらから

Vol.3

五嶋みどり with ルツェルン・ フェスティバル室内管弦楽団 大阪公演

2026. **3/20** (金・祝) 2:00PM 開演

[ヴァイオリン] 五嶋みどり
[リーダー] ダニエル・ドッズ
[管弦楽] ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団

モーツァルト: 交響曲 第41番 ハ長調
K.551「ジュピター」
メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

単券 シンフォニア会員先行: 9/25 (木)
一般発売: 9/28 (日)
S 23,100円 A 18,700円 B 16,500円 C 15,400円 (全席指定 税込)



Vol.2

チェコ・フィルハーモニー 管弦楽団 大阪公演

2025. **10/19** (日) 2:00PM 開演

[指揮] セミヨン・ビシュコフ
[ピアノ] チョ・ソンジン
[管弦楽] チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

スメタナ: 交響詩『わが祖国』より「モルダウ」
ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調
チャイコフスキー: 交響曲 第5番 ホ短調 op.64

単券 シンフォニア会員先行: 5/22 (木)
一般発売: 5/25 (日)
S 24,200円 A 19,800円 B 16,500円 C 15,400円 (全席指定 税込)



Vol.1

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2025. **8/30** (土) 2:00PM 開演

[指揮] アンナ・スウコフスカ-ミゴン
[ピアノ] 牛田智大
[管弦楽] ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

シヨパン: ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

単券 シンフォニア会員先行: 3/29 (土)
一般発売: 3/30 (日)
S 16,500円 A 13,200円 B 11,000円 C 9,900円 (全席指定 税込)



ワルシャワ国立
フィルハーモニー管弦楽団
大坂公演
Warsaw
Philharmonic Orchestra

Tomoharu Ushida

「ピアノ」

牛田智太

ともはる

Interview

シヨパンが血気盛んだった若き日の作品、砂埃の香りが出せたら
深い呼吸を持って歌う弦楽器が主
体となるオーケストラ

——ワルシャワでも研鑽を積み、ポーランドの空気には馴染んでいる牛田さんにとって、ワルシャワ・フィルにはどんな印象がありますか？
ポーランドはシヨパンが生まれた特別な国ですが、それとはまた別のところで、弦楽器の分野にもヴェニア・ア・フスカを中心にするらしい伝統があります。ワルシャワ・フィルは、そんな弦楽器が深い呼吸を持って主体となり、その歌にオーケストラ全体がついてくるという印象です。

彼らの弦楽器の音色の方向性やこだわりは、力強い表現より、例えばユリアン・シトコヴェツキーが活躍したような時代に求められていた、人間の声やシルバートーンに近いものだと感じます。ワルシャワ・フィルには、今もそういうものを受け継いだ方がたくさんいます。

今回の指揮者のアンナ・スウコフスカ・ミゴン
[指揮]アンナ・スウコフスカ・ミゴン



©Piotr Banasik

生んでくださるのではないかと楽しみにしています。

——ワルシャワ・フィルとは2018年、前音楽監督のカスプリクスの指揮で共演されていますね。思い出はありますか？

まずよく覚えているのは、すごく弾きやすかったということです。シヨパンの協奏曲は、深い呼吸を持つ歌と舞曲の繰り返しです。この舞曲の部分はトッカータのように素速く演奏されることも多いですが、本来はポロネーズ的なものを基調にゆったり進んでいくものだと思います。

ワルシャワ・フィルはそのあたりのシヨパンの呼吸感をベースに持っていて、理想的な場所を押さえて動いてくれるので、その中で自分ができることをしてもオーケストラが合わせてくれます。

シヨパンのオーケストレーションは貧弱だと言われることもありますが、あらゆる対旋律や弦楽器の刻みにも意味やメロディを見出すと、すごくきれいに響くように書かれています。それを理解して演奏してくれるから、ピアニストとしてもやりやすいのでしょう。

とはいえ前回共演したときはまだ18歳ですから、そんなことは考えていませんでしたけれどね。「メロディをきれいに歌わせなくちゃ！」というこ

とくらしいか頭にありませんでした。

——オーケストラの音楽からだいぶインスピレーションを得ているようです。10代の頃から今も師事するアガジャノフ先生が、オーケストラ的な観点から音楽について話されることが多いので、それをきっかけに聴く機会が多くなりました。

——特に好きな指揮者は？

スヴェトラノフはすごく好きです。ロシアであまり一般に出ていない貴重な音源を見つけることに熱中した時期もあります。彼の音楽を聴いていると、最終的に到達すべき場所は本当の意味でシンプルな音楽なのだろうと感じます。余計なものを加えなくても、広い呼吸と和声への正しいアプローチで淡々と流すだけで、音楽は十分に輝くのだと納得させられるのです。

一人で弾いていると小細工のようなものを加えたりがちですが、それは本質的には間違っていると感じさせてくれます。

室内乐的で親密な音楽ができる。ザ・シンフォニーホール

——ワルシャワと行ったり来たり生活も数年が経ち、ポーランドの春夏秋冬を経験されたと思います。



そうですね、一昨年は初めてクリスマスの時期に滞在しました。中心部は賑やかでお祭りのようでしたが、当日はみんな家族と過ごすので、逆に街は静かになるそうです。「大切な日でみんな家にいるから、あまり練習をしすぎないようにね」と大家さんにはあらかじめ言われていました(笑)。

ポーランドでは、音楽に対する思考に違いを感じます。日本に比べるとだんだんシャープな方向、シックな方向にまとめがちですが、向こうで勉強していると、良い意味で力が抜けて自由になっていくんです。ポーランドの素朴な温かい雰囲気の影響するのかもしれない。

——シヨパンの1番を弾く上ではどこにこだわっていますか？

シヨパンの20歳の時期は、直前に妹や親友を亡くし、ポーランドでナシヨナリズムや革命の機運が高まっていたことも相まって、ある意味で血なまぐさい音楽を書いています。

この曲は一般的に、センチメンタルな歌と軽やかな舞曲が特徴だと捉えられることも多いですが、もう少し軍隊的というか、砂埃の香りが出せたらおもしろいと思っています。

[指揮]アンナ・スウコフスカ・ミゴン [ピアノ]牛田智太
[管弦楽]ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

シヨパン：ピアノ協奏曲 第1番 小短調 op.11
ドヴォルザーク：交響曲 第9番 小短調 op.95「新世界より」

2025.8/30(土) 2:00PM

全席指定 S 16,500円 A 13,200円 B 11,000円 C 9,900円(税込)

※世界の巨匠と共に2025 全3公演 プラチナセット券63,800円あり

(ザ・シンフォニー チケットセンターのみで取り扱い)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

【単券】シンフォニア会員先行：3/29(土) 一般発売：3/30(日) NEW

【プラチナセット券】シンフォニア会員先行：3/22(土) 一般発売：3/24(月) NEW

——ザ・シンフォニーホールにはどんな印象がありますか？
最初に舞台に立ったのは2013年、13歳の頃で、それ以来ほぼ毎年演奏する機会をいただけてきました。1700席を超える規模でありながら、音を飛ばすことにとられず親密で繊細な音楽ができる、まさに奇跡のようなホールだと思います。シヨパンにも合っていると思います。本場にすばらしいホールです。

(取材：文 高坂はる香)



——先輩の横山さんからみた、お二人の推しポイントとは？
横山 川久保さんは最初に会った時の鋭刺とした印象から変わらな。ラジオ番組にゲストで来た時に僕の作曲したヴァイオリン・ソナタを暗譜で弾いてくれたのも嬉しかった。いつも見目麗しい

プレーヤーたちでアンサンブルを組んでいらつしやるイメージなので、たまには、美女と野獣、でもお願いします！
川久保 ぜひ！どんな難しい曲でも横山さんと一緒に何と心配いりません。
横山 佐藤さんはとにかく今、層

の厚いチェリストの中でも破竹の勢いの若手。僕ら世代と比べてみんな割と低年齢からチェロを始める人も多いとか。
佐藤 僕は6歳からなんです。最初はヴァイオリンでした。チェロを選んだ大きな理由は座れるから笑
横山 ピアノも座って弾く楽器ですが、ヴァイオリンはずっと立ちっぱなしですね。
佐藤 確かに時々、椅子から飛び上がりそうになることはあります。ジャズとかヨーヨー・マさんも立って弾くことがありますね。
川久保 でも私もピアノを1年やりましたが、楽譜をあっちもこっちと読まなくてはいけないからきつといちばん大変ですよ。

——では、川久保さんにとってチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲とは？
川久保 14、15歳の頃はずっとそればかり練習していたので、留学先でザハール・ブロン先生に師事した時に「他の曲なの？」と言われたくらいでした笑誰かが知っている第1楽章やキャッチーな第3楽章も素晴らしいのですが、私はどこかオペラ的な第2楽章が美しいと思います。チャイコフスキーの想いがギュッと詰まっていた胸が締め付けられる。
横山 1991年の世界陸上プレフェスティバルコンサートで、諏訪内晶子さんのヴァイオリン協奏曲と共に演奏したのが最初でした。この曲はピアノが主役のように主役じゃなく、聴いている人が難しそうに思っているところは意外と楽だけれど、簡単そうに聞こえるところがピアニスト的には弾きにくい。しかも頑張っただけ割には効果が薄いところもあるの、いわゆるピアノが上手な人が書いた曲じゃない。僕のヴァイオリン・ソナタみたいな曲かも笑ソリストが弾いている姿を見ても、ヴァイオリン協奏曲の方が自然な

[指揮]飯森範親 [ピアノ]横山幸雄 [ヴァイオリン]川久保賜紀
 [チェロ]佐藤晴真 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

チャイコフスキー：ロココの主題による変奏曲 イ長調 op.33
 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

2025.8/3(日) 2:00PM

S席 7,700円 A席 6,600円 B席 5,500円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：3/29(土) 一般発売：3/30(日) NEW

【続編に続く】
 (取材文 東端哲也)

熱狂コンチェルト

2025 真夏のチャイコ3連投!!

Interview
前編

「チェロ」
 佐藤晴真
 「ヴァイオリン」
 川久保賜紀
 「ピアノ」
 横山幸雄

名手たちによる真夏の
 チャイコフスキー尽くし

3連投！

世界の3大コンクールを
 席巻した3人が一挙に！



©Yuji Hori



©ZIGEN



©Seiichi Saito

広島交響楽団 ザ・シンフォニーホール 大阪公演

「平和の夕べ」

被爆80周年“Music for Peace”
マリア・ジョアン・ピリスを迎えて

Interview

[ピアノ]

マリア・ジョアン・ピリス
Maria João PIRES

世界的名手、マリア・ジョアン・ピリスが広島交響楽団と共演！

被爆80周年にあたる、2025年8月、広島交響楽団が広島、大阪、東京の3都市で2025「平和の夕べ」コンサート、Music for Peaceを開催する。そのメモリアルなコンサートに、ポルトガル出身の世界的ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスが出演する。ピリスは、これまでも、アバド&ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（1998年6月）、シャイー&ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団（1996年9月）、ハイティンク&ロンドン交響楽団（2013年）など、世界最高

峰のオーケストラや巨匠とともに、ザ・シンフォニーホールを訪れている。昨年11月、第35回高松宮殿下記念世界文化賞（音楽部門）を受賞し、来日した際に、広島交響楽団との「平和の夕べ」コンサートやそのときに弾くベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番について聞いた。

——まずは高松宮殿下記念世界文化賞受賞、おめでとうございます。
たいへん名誉なことであり、光栄です。私と日本とは長い関係があります。もう半世紀以上です。1969年、初めて日本を訪れました。ヨーロッパの外に出るのは



© 鈴木久美子

そのときが初めてでした。ドイツと一緒に演奏していた日本人ヴァイオリニスト（注：塩川悠子）とともに来日したのでした。初来日のとき、良い意味で、とてもカルチャーショックを受けました。こんなものがあるのだらうかと驚く文化が日本にはありました。自由な時間に私は、劇場に行き、文楽を見ることができました。素晴らしいと思いました。そのとき、どうやってアートができるかの秘密がわかりました。言葉がわからないのに、わかったのです。そして毎日、文楽に通いました。それによって大きな影響を受けました。そのことが日本の印象として強く残っています。日本には、誰も教えてくれなかったアートの秘密がありました。誠実さなどです。そして私はアートとパフォーマンスは別のものだとかかり、私はずっと自分の人生で、パフォーマンスをアートに変えるようにしてきたのです。

最初に弾いたベートーヴェンのピアノ協奏曲が第4番でした
——今回、広島交響楽団と共演されますね。

広島交響楽団とは初めての共演ですが、とても楽しみにしています。私が生まれた（注：1944年7月生まれ）すぐあとに、広島に原爆が落とされましたので、あの悲惨な出来事についてはとても強い思いがあります。その被爆80周年に広島交響楽団と共演できることを非常にうれしく思っています。

——このコンサートで演奏されるのは、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番ですね。

私にとって、最初に弾いたベートーヴェンのピアノ協奏曲が第4番でした。14歳のときでしたが、そのときのことはよく覚えています。まるで革命が起こったようでした。同時代の作品に「熱情」ソナタがありますが、抒情的なところが似ています。



私はベートーヴェンを弾くのが好きで、弾いているとベートーヴェンを近くに感じます。ベートーヴェンは勇気と抒情、美とが交ざっています。正義のための闘いがあり、いかにもベートーヴェンらしいパ

ストラール（田園牧歌）もあります。今、私たちに必要なことではないでしょうか。

——ピアノ協奏曲第4番の聴きどころを教えてくださいませんか？

私は曲の分析はできませんが、分析すると曲を切り崩してしまうことになりそうです。私は、曲のアイデアを切り崩すのではなく、曲を全体としてとらえます。そのときだけ、アートの秘密が音楽を聖なるものとして存在させるのです。曲を完全な一つのものとするのが私の仕事です。それは結構たいへんなことなのです。

ザ・シンフォニーホールではいつも楽しかったことを覚えています
——大阪やザ・シンフォニーホールの思い出を話していただけますか？

大阪には何度も行っています。2022年にもザ・シンフォニーホールでリサイタルをしました。ザ・シンフォニーホールはとても弾きやすいホールです。日本人が作った、西洋人が知らなかったモダンで素晴らしいホールの先駆けだと思います。ヴァイオリンのデュメイサンとリサイタルをしましたし、アバドさんやハイティンクさんともオーケストラのツアーで訪れました。いつも楽しかったことを覚えています。

[指揮] クリスティアン・アルミンク



© Shumpei Ohsugi

大阪は食の街ですよね。私は、寿司や刺身だけでなく、日本食がすべて好きなので、大阪に行くのが楽しみです。

また、大阪の音大で教えている親友がいます。私が手の事で問題のあった時にもアドバイスをしてくれたり、心から信頼出来る友に会えるのも楽しみです。

ほかに、地下鉄に乗って、街を歩くのが好きで、いろいろな発見をするのも楽しみです。美術館に行くだけでは、人々の違う暮らしがわからないから。人々の日々の暮らしはとても大切です。

——8月の演奏会には何を期待されていますか？

私と一緒に音楽をシェアしていただきたい、それだけです。その質問は「友人に何を期待しますか？」というのと同じです。何でもシェアするのが友人です。

——ありがとうございました。

（取材文 山田治生）

[指揮]クリスティアン・アルミンク [ピアノ]マリア・ジョアン・ピリス
[ソプラノ]石橋栄実★ [管弦楽]広島交響楽団

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58
マーラー：交響曲 第4番 ト長調★

2025.8/7(木) 7:00PM

S 11,000円 A 9,000円(税込) ※小・中・高校生はS席・A席とも半額

お問い合わせ)ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]公益社団法人 広島交響楽協会／ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：3/27(木) 一般発売：3/30(日)

広島事務局発売：3/31(月)

NEW



[管弦楽] 広島交響楽団

「ピアノ」 金子三勇士 ピアノ・リサイタル

Interview

自身のルーツを見つめ直し
はるかに目指すのは「21世紀のリスト」



忘れられない記憶、ザ・シンフォニーホールでの公演は人生の節目

—— 久しぶりのザ・シンフォニーホールでのソロ・リサイタルですね。協奏曲のソリストを務めるなどしてきましたが、リサイタルはデビューした2011年以来で2回目になります。大阪のお客さんの熱量に圧倒されたのが幸せな記憶として残っています。6歳からハンガリーで長く生活しましたが、大阪とハンガリーはボケとツツコミと云うか、タクシーの運転手さんと話が弾んだり、初めてのお店でも大将とすぐに仲良くなってサーブしてくれたり、世界観がよく似ていると勝手なイメージを抱いています(笑)

—— ホールにはどんな印象を持っていますか。心に残っている公演はありますか。

見た目も落ち着いた色合いで、響きも空気感も温かみがあります。

大きなホールですが客席との距離を近く感じます。演奏家も聴衆と同じ空気に触れることで、ここ

か聞こえない響きがするのだと思います。14年、大雪の中で迎えた山田和樹さん指揮の大阪フィルハーモニー交響楽団との協演は忘れられません。初めてベートーヴェンの「皇帝」を弾きました。まだ経験の浅い身で、温かなホールの響きに助けられました。今も世界中どこで弾いても、やっとの思いでホールにたどり着いたときの雪の寒さがよみがえってきます。コロナ禍の21年、クラシックキャラバンで訪れた際は久々に音楽家が集まって練習し、本番が迎えられる喜びを感じました。ピアノニスト人生の節目で、ホールにお邪魔している印象です。このリサイタルが、また何かの節目になるかと楽しみにしています。

知られざるリストを探求し、さかのぼってベートーヴェンを仰ぐ

—— 今回のリサイタルは、ご自身のルーツとも言いきリストを取り上げます。

ハンガリーで学んだリスト音楽院の恩師たちは皆、リストファミリー。僕はリストから5代目の弟子にあたる人に教わっていて、僕もその一員になるわけです。僕自身は「21世紀のリスト」になることを目指し、一日一日を過ごしています。言葉にするとおこがましいのですが、自分自身にプレッシャーをかけている面もあります。リストは、その技巧やピアノ曲で知られる音楽家ですが、私は1人の社会人、国際人として19世紀半ば、後進の指導だったり、慈善活動だったり、誰もしてこなかった活動をしていたところに魅力を感じています。今の私たちに求められているアプローチだと思っているからです。よく知られる名曲を演奏するだけでなく、あまり知られていないリストの一面にも触れ、少しでも興味をもってもらえる曲目にしたつもりです。当日はMCでもリストについて話し、さらに掘り下げてリストの世界を楽しんでいただければと思います。

—— もう一人はベートーヴェン。3大ソナタのうち2つを並べました。クラシックの世界では、バトンが受け継がれています。リストは練習曲で有名なツェルニーを紹介し、

ベートーヴェンの孫弟子にあたります。私はベートーヴェンから数えて8代目にもなるわけです。リストが尊敬してやまなかったベートーヴェンとは。リストの作品と比較して、どんな影響を与えたのかを掘り下げられたらと思います。リストの側から聞くことで、普段聞き慣れている人も新たなベートーヴェンに出会える可能性があるのでは。誰もが一度は聴いた旋律も出てくるので、聞き慣れていない人にもクラシックに興味をもつきっかけになればと思います。

—— ラジオ番組の司会も務めるなど、発信に力を入れています。

多くのことを伝えたいとの思いがあり、音楽だけでなく言葉が要る部分もあるかと思っています。日本に帰ってきて舞台に立ったとき、必ず曲間にMCを入れるという機会があり、鍛えられました。日本語にハンデのあった身で、まさかFMの司会の仕事までいただくとは予想していませんでしたが、せっかく身に着けさせてもらった力を生かせればと思います。リストも私も、国籍など関係なく活躍できる分野が音楽だったのかもしれない。あまりクラシック音楽が普及していない国・地域にもよく出掛けますが、感じるのは音楽、ピアノがあれば一つになれるということ。今の世界で必要とされるところではない

かと考えます。

—— 久しぶりのリサイタルを楽しみに待っていた皆さんにメッセージをお願いします。

クラシックは、偉大な作曲家あつての芸術です。近ごろアーティストが主役なのだと勘違いされやすいのですが、魅力を引き出す手伝いをするのが私たちの役割で、そこにアーティストの人生経験による味が出てきます。30代半ばの今だからこそ出せる大人になった金子の味を、このタイミングで堪能いただけたらと思います。

(取材文 最上 聡)

【ピアノ】金子三勇士

リスト：ラ・カンパネラ バガニーニによる大練習曲集 第3番 嬰ト短調より
泉のほとり 巡礼の年 第1年～スイスより
リゴレット・バラフレーズ
ペトラルカのソネット第104番 巡礼の年 第2年～イタリアより
ハンガリー狂詩曲 第12番 嬰ハ短調
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 op.13「悲愴」
ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 op.57「熱情」

2025.8/23(土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：3/29(土) 一般発売：3/30(日)

NEW

© 鈴木久美子

MIYUJI KANEKO PIANO RECITAL



オルガン 大木麻理

スイスの名門「クーン社」製パイプオルガンの荘厳な響きと、煌びやかなプロジェクションマッピングが創り出すファンタジーな世界で多くの聴衆を虜にしてきたザ・シンフォニー・ホールの人気シリーズが、「新超絶のオペラ座の怪人」と銘打ってミュージカルの代表曲を次々と聴かせてくれる。ミュージカルでオルガンが活躍する曲というアンドリュ・ロイド・ウェバー作曲の名作『オペラ座の怪人』を思い出す方も多いのではないかと。ザ・シンフォニー・ホールを象徴する世界有数のパイプオルガンで、この名曲を聴くチャンス到来だ。

新旧人気ミュージカルが贅沢に並ぶプログラムは実に魅力的!

他にも、建て替えが決まった帝国劇場の最終公演から全国ツアー決定中の『レミゼラブル』や、娯猫グリザベラが清らかに歌いあげる

「メモリー」で有名なアンドリュ・ロイド・ウェバー作曲の『キャッツ』、ディズニーが演劇ビジネスに初進出した記念碑的な作品『美女と野獣』、スウェーデン出身のポップ音楽グループABBAのヒット曲で綴られたジュークボックス・ミュージカルの代表作『マンマ・ミーア!』、劇団四季が現在も大ヒット上演中の『ライオン・キング』、1975年7月にブロードウェイで初演されたミュージカルの名作古典『コーラスライン』、リチャード・ロジャース&オスカ・ハマースタイン二世という名コンビによる最後の作品『サウンド・オブ・ミュージック』といった新旧の人気ミュージカルがずらりと並ぶ。

これらの曲をオーケストラが演奏する機会はこのところ随分増えたように感じるが、パイプオルガンでの演奏は比較的珍しく、迫力の種類が違う。ザ・シンフォニー・ホールの舞台正面に厳かに佇む巨大なパイプオルガンは、オルガニストの感性、音楽解釈によって多彩なレジストレーション（音色選び）が施され、豊かな響きの中に広がる様々な音色は、巨大な楽器の中にいるかのような壮大で幻想的な世界へ誘ってくれる。意外と知られていないが、このコンサートにはオルガンの他にパーカッション奏者が何名か出演し、毎回趣向を凝らした演奏

[オルガン]大木麻理

「オペラ座の怪人」／「レミゼラブル」／「キャッツ」
「美女と野獣」／「マンマ・ミーア!」／「ライオン・キング」
「コーラスライン」／「サウンド・オブ・ミュージック」
※休憩なし。約60分間のコンサートです。

2025.8/23(土) 2:00PM

全席指定 3,300円(税込) ※4歳以上のお子様からご入場可能です。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：3/29(土) 一般発売：3/30(日) **NEW**

オールバッハ名曲選!! 真夏の オルガンコンサート 2025

第25代札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト

[オルガン]

ファニー・クソー
Fanny Cousseau

Interview
前編



©Hiroharu Takeda

——オルガンを始めたきっかけはどのようなものでしたか。

本当に偶然だったんです。15歳頃、教会で母と一緒にオルガンを聞いた際に、母が「娘にも弾かせてもらえませんか」とオルガニストにお願いしたのが始まりです。はじめは小さいオルガンでしたが、さまざまな楽器を弾くにつれて、その壮大な響きの可能性にすっかり魅せられました。最初にリサイタルを開いたのは18歳の時です。

——札幌コンサートホール Kitara の第25代専属オルガニストに就任された経緯、また初来日の印象などを教えてください。

オルガニストのフランソワ・エスピナス先生を通じて、札幌での公募を知りました。日本に行ったことはなく、もちろん日本語もまったくわかりませんので不安はありましたが、またとないチャンスなので録音と履歴書を送り採用していただくことができました。最初に札幌に着いた時、美しく清潔な街なのが印象に残りましたね。実は寒いのはとても苦手なのですが、有名な雪まつりで雪像を見るのは楽しみにしています。

ザ・シンフォニー・ホールのオルガンを弾くのはとても楽しみ

——今回のプログラミングの意図やご自身のレパートリーについて教えてください。

今回はザ・シンフォニー・ホールからのリクエストで有名作品も入れたプログラムになっています。バッハの壮大な二短調の《トッカータとフーガ》はどんな方にも楽しんでいただけたと思います。また《G線上のアリア》、コラール《目覚めよと呼ぶ声あり》などよく知られた曲も演奏する予定です。バッハ作品は、オルガンを聞くには、とてもよい入り口ではないでしょうか。

今回はオールバッハのプログラムですが、フランスを代表する作曲家メシアンもオルガン音楽では重要ですし、美しい色彩に満ちています。私はラヴェルやマラーもとても好きなのですが、オリジナル作品はないので編曲で弾いています。

——ザ・シンフォニー・ホールのスイスのクーン社製のオルガンを今回初めて弾かれますね。

初めてとらしく楽器の場合、固有のストップを確認するのがとても大切で、ストップの選択で演奏がかなり変わってきます。リハーサルには最低10時間が必要です。必ず数日前に現地に行きます。札幌のKitaraのオルガンも大変素晴らしい響きがありますが、ザ・シンフォニー・ホールのオルガンも、非常に優れているという評判を伺っており、その素晴らしい楽器で演奏することを今からとても楽しみにしています。

——大阪について何か印象をお持ちですか。また演奏会を楽しみにされているみなさんにメッセージをお願いします。

大阪には数日滞在する予定です。フランスでもとても有名な都市なので、様々な場所を訪れたいですね。今回のリサイタルではオルガンならではの世界を発見していただき、皆様と音楽を分かち合いたいと思います。

「大阪の夏は暑いです」と言っていると、暑さはまったく問題ありません、40度でも大丈夫ですよ!」と笑顔で話してくれたクソー。8月の大阪にオルガンで素敵な風を吹き込んでくれることだろう。

(取材・文 伊藤制子)

[オルガン]ファニー・クソー

(第25代札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト)

J.S.バッハ: トッカータとフーガ 二短調 BWV565 / オルガン協奏曲 イ短調 BWV593より 第2楽章 / オルガン協奏曲 二短調 BWV596より 第3楽章 / 前奏曲とフーガ ト長調 BWV541より「前奏曲」 / 管弦楽組曲第3番 二長調 BWV1068より 第2楽章「G線上のアリア」 / フーガ短調「小フーガ」 BWV578 / コラール「目覚めよと呼ぶ声あり」 BWV645 / コラール「われいずこに逃れ行かん」 BWV646 / パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582

2025.8/2(土) 2:00PM

全席指定 2,750円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：3/29(土) 一般発売：3/30(日) **NEW**



編曲・指揮 藤野浩一

休憩を挟んで、第二部はいよいよ松崎しげるさんの登場です。「愛のメモリー」をはじめ、ヒット曲からスタンダードナンバーまで、バラエティ豊かな楽曲を、オーケストラとの共演で、壮大なスケールでお届け

[ゲスト]松崎 しげる
マルコス・ペレス・ミランダ (Marcos Pérez Miranda 新日本フィル首席奏者)
[編曲・指揮]藤野浩一 [管弦楽]大阪響ポップスオーケストラ

第一部「日本人メジャーリーガーの活躍を祈念して」An Affair To Remember/Luck Be A Lady/Somewhere Out There/Deep in the Heart of Texas/私を野球に連れてって(Take Me Out to the Ball Game)/Here's That Rainy Day/ソルフェジエツト/メタモルフォシス(Solfeggietto/Metamorphosis)/アメリカン TV アドベンチャー(American TV Adventure)

第二部「松崎しげるベストソングセレクション」素肌物語/ただそれだけ/愛のメモリー ほか

2025.8/24 (日) 2:00PM
全席指定 SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール
シンフォニア会員先行: 3/27 (木) 一般発売: 3/30 (日) NEW

きつと、忘れられない一日になる。そんな予感がする。

8月、情熱の歌声が響き渡る。ザ・シンフォニーホールに、照り付ける陽射しとともに心躍る特別な時間が訪れます。

今年は、ラブリングの帝王・松崎しげるさんをゲストにお迎えする「ライト・シンフォニックコンサート『大人の贅沢』」。

誰もが知る名曲の数々が、オーケストラの壮大な音色に包まれ、ドラマティックに響き渡ります。

「Take Me Out to the Ball Game」(私を野球に連れてって)はメジャーの試合中には必ず流れる、アメリカ・メジャーリーグの国歌とも呼ばれる愛唱歌。松井秀喜選手、イチロー選手、そして2024年リーグMVP、本塁

打王、打点王を獲得した大谷翔平選手のような、日本人のメジャーリーガーが世界の舞台で多く活躍しています。彼らの偉業に敬意を表し、更なる活躍を願って応援する曲をプログラムしました。

そして、新日本フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者、マルコス・ペレス・ミランダさんによる、バッハの「Solfeggietto」と「Metamorphosis」にもご注目ください。この曲は、ホルヘ・カランドレツリというグラミー賞を6回受賞(ノミネートは28回に及ぶ)大作編曲家による作品です。世界最高峰のクラリネット奏者エディ・ダニエルズのために書かれ、グラミー賞のベストアレンジ賞にもノミネートされたこの曲を、マルコス・ペレス・ミランダさんの卓越したテクニックと豊かな音楽性で堪能ください。

第一部のラストを飾るのは、「American TV Adventure」。アメリカのテレビドラマや映画で使われた名曲の数々を、オーケストラの迫力ある演奏でお届けします。

休憩を挟んで、第二部はいよいよ松崎しげるさんの登場です。「愛のメモリー」をはじめ、ヒット曲からスタンダードナンバーまで、バラエティ豊かな楽曲を、オーケストラとの共演で、壮大なスケールでお届け

します。愛する人を失った悲しみを、力強く、そして切々と歌い上げる松崎さんの歌声は、時代を超えて、多くの人々の心を揺さぶり続けています。唯一無二の音楽を心ゆくまでお楽しみください。

「ライト・シンフォニックコンサート『大人の贅沢』」は、クラシックファンだけでなく、ポップスファンも楽しめる、贅沢なプログラムです。

きつと、あなたの心に残る、忘れられない一日。ご家族やご友人との特別なひとときを、ぜひザ・シンフォニーホールでお過ごしください。



親子で楽しむ「音楽の万博」が今年もやってくる!

夏休み、お子様と過ごす楽しい予定はもうお決まりですか? ザ・シンフォニーホールでは、8月5日(火)に関西フィルハーモニー管弦楽団による、親子で楽しめるコンサートを開催します! 今年のテーマは、昨年も大好評だった「音楽でたどる万国博覧会2」。世界各国の名曲を、オーケストラの生演奏で聴くことができるんです。

今年はソリストに、ヴァイオリン・ストの松本蘭さんが出演! 桐朋学園大学音楽学部を卒業後、国内外のオーケストラと共演し、ソロ活動の他、「高嶋ちさ子12人のヴァイオリン・スト」のメンバーとしても活躍。クラシックの枠を超えた幅広い活動が目され、「めざましクラシックス」松本蘭バージョンも好評を博している。

今回は、キンボー・イシイさんの指揮に華を添える華麗なヴァイオリン演奏と、2人の軽快なトークをお届けします。

マエストロの軽快なトークと指揮で、プログラムは、まさに「音楽の万博」! アメリカの軽快なダンス音楽、オーストリアの軽やかなポルカ、フランスの情熱的なオペラ、チェコの郷愁を誘うメロデーなど... 世界一周旅行をしているような気分になります。有名な「運命」や勇壮な「カルメン」など、一度は耳にしたことのある曲

ばかりなので、クラシック初心者の方も安心して楽しめますよ。

また、今年の4月からは大阪関西万博が開催されますね! 世界中から人が集まる万博のように、色々な国の音楽に触れることで、お子様の好奇心もぐんぐん育ちそう。グローバルな感覚を育むのに、ぴったりのコンサートですね。もちろん、大人の方も大歓迎! 生のオーケストラの迫力は、大人だつて感動すること間違いなし。普段はなかなかクラシック音楽を聴く機会がない...という方も、この機会にぜひ、お子様と一緒にザ・シンフォニーホールへ足を運んでみませんか? きつと、忘れられない夏の思い出になるはず。

さらにこのコンサート、夏休みの自由研究にもピッタリなんです! 会場でもらえる「研究シート」を使えば、世界の音楽や楽器について楽しく学ぶことができます。「今年の自由研究、どうしよう...」と悩んでいる親御さんも、これで安心ですね。今年の夏休みは、ザ・シンフォニーホールで、音楽の世界旅行に出かけましょう!

[指揮・お話]キンボー・イシイ [ヴァイオリン]松本 蘭
[司会]空井仁美 [管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

<第1部>アンダーソン・舞踏会の美女/シトラウス2世・アンネン・ポルカ/マスネ・タイスの瞑想曲/ドヴォルザーク・ユーモレスク/エルガー・愛の挨拶/バルトーク「ルーマニア民族舞曲」より 第1番、第5番/ベートーヴェン「交響曲第5番「運命」第1楽章

<第2部>ビゼー・歌劇「カルメン」より「第1幕への前奏曲」/マスカーニ・歌劇「カヴァレリア・アルスチカーナ」"間奏曲"/ブラームス・ハンガリー舞曲第5番/日本民謡メドレー(D、ハウエル編)/越中おわら節(富山)～南部牛追い唄(岩手)～谷茶前節(沖縄)～会津磐梯山(福島)/ビゼー・劇音楽「アルルの女」より「ファランドール」

2025.8/5 (火) 2:00PM
全席指定 4,400円(税込) ※4歳以上のお子様から入場可能です。
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団/ザ・シンフォニーホール
シンフォニア会員先行: 3/29 (土) 一般発売: 3/30 (日) NEW



Osaka Shion Wind Orchestra

Shion

第160回定期演奏会

© 飯島隆



©PeterAdamik

指揮 ダグラス・ボストック

日本においては2000年から10年間にわたり東京佼成ウインドオーケストラの常任指揮者、首席客演指揮者を務めました。また、東京藝術大学の指揮・オペラ科客員教授、洗足学園音楽大学客員

【指揮】ダグラス・ボストック
【ユーフォニアム】スティーヴン・ミード
【吹奏楽】Osaka Shion Wind Orchestra
《オール「エドワード・グレッグソン」プログラム》
セレブレーション／メタモルフォーゼ／ユーフォニアム協奏曲
剣と王冠／王は受け継がれゆく
2025.4/26 (土) 2:00PM
全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 2,500円
学生価格 3,000円 (税込)
※C席は、Shionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみでの販売。
※学生価格は、Shionチケットセンターのみでの販売。
【お問い合わせ】Shionチケットセンター
フリーコール: 0800-919-5508 (平日10:00~17:30)
【主催】公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

つわる「剣と王冠」とその続編である「王は受け継がれゆく」の連続演奏です。これは世界的に見ても稀有な試みで、作品の新たな魅力が発掘されること請け合いです。そして、マエストロと親交の深い世界的ユーフォニアム奏者、スティーヴン・ミードとの競演で「ユーフォニアム協奏曲」を演奏します。現代的書法が突出した「メタモルフォーゼ」、ブラスバンド作品も多く手がけるグレッグソンによる祝祭音楽「セレブレーション」を演奏予定です。

ダグラス・ボストックはイギリス出身で、南西ドイツ室内管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督を2019年から務め、スイスのアーガウ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を経て現在は名誉指揮者、スイスのハルウィル・オペラ音楽祭の音楽監督の重責を担っています。また、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、チエコのカールスバッド交響楽団、ミュンヘン交響楽団において重要なポストを歴任しています。

今回のプログラムではボストックの母国であるイギリスの作曲家、エドワード・グレッグソン(1945-)を特集します。Shionはこれまでボストックのタクトで同じくイギリスのグスタヴ・ホルスト、パーシー・グレインジャー、そしてフィリップ・スパークを特集してきましたが、それに続く企画となります。

ボストック首席客演指揮者就任記念「エドワード・グレッグソン」特集

教授として後進の指導に当たっています。

「私は自分の楽器を深く理解したうえで、技術的に洗練させる努力を絶えず、なく重ね、進化させてきました。その結果、楽器は次第に成熟し、私が歌いたいと望んでいたような役も演じることができるようになりました」

エリーナ・ガランチャ

メゾソプラノ リサイタル
2025

心を激しく揺さぶる異次元の歌唱！
これが正真正銘「大歌手」の歌声！



音楽的な表現に集中できる力。世界最高峰のメゾ・ソプラノ、エリーナ・ガランチャ。その磨き抜かれた声はなめらかで絹のような光沢を帯び、知性と感性に裏付けられた無限のニュアンスを帯びる。ときに大胆でときに細やかな表現はすべて、トランスクリプトの身体の動きのように精密に形づくられている。

「私は歌曲でもオペラ・アリアでも、歌に込められた感情、歌が表現している物語を聴き手に伝えることを第一と考えています。そのために徹底した練習を重ねた結果、ステージ上では体が勝手に動いてくれます。どういったテクニックを駆使して歌うかなどと考えず、その先の音楽的な表現に集中することができず」

彼女にはそれが可能な知性があり、知性がゆえに歌は深みを増すという好循環が生まれている。

エリーナ・ガランチャ メゾソプラノ リサイタル 2025

ビゼー：歌劇「カルメン」より「ハバネラ」
サン＝サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」より「あなたの声に私の心も開く」
ブラームス、ラフマニノフ厳選歌曲集 他

2025.6/23 (月) 19:00PM SS 19,000円 S 15,000円 A 13,000円 (税込)
一般発売: 3/1 (土) NEW

【お問い合わせ】キョードーインフォメーション 0570-200-888 (平日12:00~17:00 土日祝休業)
【主催】読売テレビ / リバティ・コンサート / ザ・シンフォニーホール
【企画・制作・招聘】テイト・コーポレーション

香原斗志(音楽評論家)

2025年度も

吹奏楽オリジナルプログラムで挑む!!

Osaka Shion Wind Orchestra

©飯島 隆

4月

Osaka Shion Wind Orchestra 第160回定期演奏会

【指揮】ダグラス・ポストック(首席客演指揮者)
【ユーフォニアム】スティーヴン・ミード
2025年4月26日(土) 2:00PM
《オール「エドワード・グレグソン」プログラム》
■ セレブレーション / ■ メタモルフォーシス /
■ ユーフォニアム協奏曲 / ■ 剣と王冠 / ■ 王
は受け継がれゆく



©Peter Adamik

6月

Osaka Shion Wind Orchestra 第161回定期演奏会

【指揮】齊藤一郎
2025年6月28日(土) 2:00PM
ボレロ! ~吹奏楽×ラヴェル
■ スペイン狂詩曲 / ■ バレエ音楽「ダフニスと
クロエ」第二組曲 / ■ 管弦楽のための舞踏詩
「ラ・ヴァルス」 / ■ 古風なメヌエット / ■ ボ
レロ



9月

Osaka Shion Wind Orchestra 第162回定期演奏会

【指揮/作編曲】宮川彬良(音楽監督)
2025年9月20日(土) 6:00PM
■ Shionの「クイントット」~大人になった子どもたち~ / ■ 吹奏楽のためのソナタ「ブラック
ジャック」 / ■ Mattanの嘆き ほか



©Daisuke

※通常の定期演奏会と開場/開演時間が異なります。

11月

Osaka Shion Wind Orchestra 第163回定期演奏会

【指揮】飯森範親
2025年11月22日(土) 2:00PM
Because it's there~山にまつわる作品集
■ 酒井 格: 山辺の道 / ■ A.リード: サスカッチ
アの山 / ■ J.シュワントナー: ...そしてどこに
も山の姿はない / ■ R.シュトラウス: アルプス交
響曲



©山岸伸

2026年
1月

Osaka Shion Wind Orchestra 第164回定期演奏会

【指揮】現田茂夫
2026年1月31日(土) 2:00PM
ニュー・ウインド・レパートリーズ
■ J.M.デイヴィッド: フライング・ジュエルズ /
■ V.クオン: ディシデュアス / ■ T.ドゥルレイエ
ル: フラタニティ / ■ J.マッキー: オーロラの
目覚め / ■ L.S.アラルコン: 交響曲 第2番



©K.Miura

2026年
3月

Osaka Shion Wind Orchestra 第165回定期演奏会

【指揮/作曲】ヤン・ヴァンデルロースト
2026年3月21日(土) 2:00PM
Happy 70th Birthday to Jan Van der Roost!
■ ファンタジア・ヘルヴェチカ / ■ チロルの強
き大地 / ■ カラーズ: コロレス / ■ ソノリタス
/ ■ アダージョ・カンタービレ / ■ シンフォニ
エッタ~水都のスケッチ



ブラスが熱い!!

めっちゃ楽しく! ド派手! に迫る!!

The Symphony Hall Super Brass

NEW
RELEASE



5月

The Symphony Hall
Super Brass
ブラス de アニメ

アニメソング10連発!
あの大人気曲が響き渡る!

【指揮】喜多弘悦

ザ・シンフォニーホールゼネラルマネージャー/音楽総監督の喜多弘悦による指揮、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラのメンバーを中心とした関西屈指の演奏家たちによる「ザ・シンフォニーホールスーパーブラス(TSHSB)」の演奏でお届けするシリーズコンサート。2024年12月に開催したコンサートはついにチケット完売を記録するなど、着実にファンを増やしています。そんなTSHSBの次回公演は、「ブラス de アニメ」と題して、世代を超えて愛されるアニメソングを迫力満点のブラス演奏でお届けします。昨年5月にも開催し大好評を博した「ブラス de アニメ」。今回は「アニメソング10連発!!」と題して、小さなお子様から大人まで誰もが楽しめる人気曲をチョイスしました。気になるプログラムは、「ONE PIECE」より「新時代」、「SPY×FAMILY」より「新時代」、「ミックスナッツ」、「推しの子」より「アイドル」、「鬼滅の刃」メドレー、「名探偵コナン」よりメインテーマ、「ルパン三世」テーマ、「風の谷のナウシカ」など、新旧大人気アニメの名曲ばかり!

今回もTSHSBのコンサートに

は欠かせない、壮大かつ色鮮やかで、時にスリリングなプロジェクションマッピングの演出とともに、ファンタジックなひと時を皆さまにお届けします。ホール全体がめっちゃ楽しい!と笑顔で満たされるような感動のステージにご期待ください。さらにTSHSBは、2024年9月にザ・シンフォニーホールと連携協定を結んだ韓国・大邱市の Daegu Concert House(ダグ・コンサートハウス) use(ダグ・コンサートハウス)で開催される国際アンサンブルフェスティバルに招待され出演することが決定! スーパーブラスアンサンブルというスペシャル編成で海外デビューを果たします。日韓の文化交流という大役を担う彼らの情熱、そして国境を越えて人々を繋ぐ音楽の力は韓国のお客様にどのように届くのか! シンフォニアではこの模様をレポートするので、お楽しみに!



【指揮】喜多弘悦

【演奏】The Symphony Hall Super Brass

Ado: 『ONE PIECE』より 新時代 / Snow Man: 『おそ松さん』より ブラザービート / 『名探偵コナン』メイン・テーマ / UNISON SQUARE GARDEN: 『血界戦線』より シュガー・ソングとビターステップ / 『SPY×FAMILY』より ミックスナッツ / Mrs GREEN APPLE: 『忘却バッテリー』より ライラック / 『鬼滅の刃』メドレー / 『推しの子』より アイドル / 『ルパン三世』のテーマ / 『風の谷のナウシカ』より

2025.5/10(土) 3:00PM

全席指定 S 6,600円
(S 高校生以下(4~18歳) 3,300円) A 4,400円(税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

今後のコンサートスケジュール ※チケット発売日は後日発表

7月

The Symphony Hall Super Brass
ブラス de シネマ

2025年7月26日(土) 3:00PM

12月

The Symphony Hall Super Brass
× THE SOUL MATICS ゴスペル

2025年12月29日(月) 7:00PM

2026年
2月

The Symphony Hall Super Brass
ブラス de ミュージカル

2026年2月19日(木) 7:00PM

スーパーブラスアンサンブルついに海を渡る!
3/15(土) 韓国大邱公演決定!





京都出身の気鋭のオルガニスト濱野芳純は、ザ・シンフォニーホールのことを特別なホールだと語る。「初めてザ・シンフォニーホールに足を運んだのはピアノの演奏会を聴くためだったのですが、他のホールより長めの残響を有し、バランスの取れた素晴らしい音響に魅せられました。この度、光栄なことに伝統あるザ・シンフォニーホールで、私のリサイタルが決まりました。皆様とホールでお会いするのを楽しみにしています！」と微笑む姿は、音楽家というより、さしずめ若手人気俳優のよう。関西学院大学在学中にオルガンと出会い、魅了された濱野は、オランダのアムステルダム音楽院からフランスのトゥールーズ音楽院で学び、メシアンコンクールや武蔵野国際オルガンコンクールで入賞実績を残し、2024年の春から新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)の第5代専属オルガニストに就任。7月の初リサイタルではモリス・デュリュフレの大作「組曲op.5」を弾き切った話題となった。濱野は、新潟の音楽ファンの間で「かすみん」の愛称で親しまれているようだが、関西でも今回のコンサートをきっかけに「かすみん」ブームに火が点くのではないか。現在28歳。シュツとした爽やか系の彼が、両手両足を使い

多彩なレジストレーション(音色選び)を行い、一心不乱にオルガンを弾きこなす姿は、まさにギャップ萌えではないか。新たなスター誕生の瞬間をライブで見届けて欲しい。

オルガンの醍醐味を堪能できる意欲的なプログラムに注目

今回のリサイタルでは、ブクスフェーデ(1637-1707)、バツハ(1685-1750)、フランク(1822-1890)、ヴィドール(1844-1937)とバロックから20世紀の音楽まで幅広く網羅する意欲的なプログラムが組まれている。バツハの『トッカータとフーガ』、『主よ人の望みの喜びを』といった馴染みの曲に加え、濱野が「派手さはないが、厳かな響きが際立つ、大好きな曲!」と語るフランクの『前奏曲、フーガと変奏曲』など、ザ・シンフォニーホールデビューに向けた彼の本気度が感じられる勝負プログラムに期待が高まる。

ザ・シンフォニーホールの舞台正面に佇むパイプオルガンは、スイスの名門「クーン社」製。透明感のある明瞭な音が特徴で、3,732本のパイプからなり、3段の手鍵盤と低いパイプを鳴らす足鍵盤、音色を調整する54のストップがある。弾く者の感性、音楽解釈によって多彩なレジストレーション

[オルガン]りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 第5代専属オルガニスト 濱野芳純

ブクスフェーデ：前奏曲 二長調 BuxWV139
バツハ：オルガン協奏曲 第2番 イ短調 BWV593
バツハ(デュリュフレ編)：主よ人の望みの喜びよ BWV147
バツハ(デュリュフレ編)：カンタータ 第29番「神よ、われ汝に感謝す」より シンフォニア
バツハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565
フランク：前奏曲、フーガと変奏曲
ヴィドール：トッカータ

2025.5/17(土) 2:00PM

全席指定 2,750円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

(音色選び)が行われ、同じ音は二つとして存在しない。

ザ・シンフォニーホールでは自慢のオルガンを使った自主企画も頻繁に行われているので、オルガンファンは多く存在する。濱野芳純のザ・シンフォニーホールデビューは彼らを魅了するだけに留まらず、新たなオルガンファンの取り込みに期待が持てそう。休憩なしの60分間、至福のオルガンサウンドに包まれた、極上のひと時を過ごしてみても如何だろうか。

(文 磯島浩彰)



The Symphony Hall Big Band

心震わす情熱、再び！
古澤 巖XTSHBB、タンゴの夜へ

5月28日、「The Symphony Hall Big Band Music Director 菊池寿人 vol.26 -タンゴ・タンゴ・タンゴ3-」が開幕。ザ・シンフォニーホールが自信を持ってお届けする、毎回好評の恒例シリーズ。今年もまた、皆様のミュージックライフに特別な輝きを添える、熱い夜をお約束します。ぜひこの機会に、人気のコンサートシリーズをご堪能ください。

今回のテーマは、情熱の国、南米が生んだタンゴ。「タンゴ・アモレ」「エル・チョクロ」「リベルタンゴ」…一度聴けば忘れられない、情熱的で哀愁を帯びた旋律が、ホール全体を潤します。ザ・シンフォニーホールの誇る音響空間で、生音を感じ心揺さぶる、特別なひとときをお過ごしください。

スペシャルゲストは、ジャンルを超えて活躍するヴァイオリニスト、古澤 巖さん。時代を代表するヴァイオリニストであり、技巧と表現力に富み、繊細な音色と情熱的な表現で聴衆を魅了する、まさに日本の宝とも言える存在です。The Symphony Hall Big Band(以下TSHBB)との共演は今回で9回目！これまでも数々の名演を生み出してきた両者のコラボレーションは、回を重ねるごとにその輝きを増し、今回はさらに深化を遂げた、まさに「コラボレーションの妙」と呼ぶにふさわしい演奏を体験していただけます。古澤さんは楽曲の背景にある時代背景や作曲者の想いを深く理解し、その精神を表現することに重きを置いて演奏されます。そのため、彼の演奏は単なる技巧的な演奏ではなく、音楽そのものの魂に触れるような感動を与えてくれるはずです。

さらに、今回はもう一人のスペシャルゲスト、バンドネオン奏者の川波幸恵さんをお迎えします。福岡県宗像市出身。第1回チエ・バンドネオン世界大会優勝者という輝かしい経歴に加え、劇作家・女優の渡辺えり氏の舞台への出演を皮切りに、様々なジャンルのアーティストとの共演、さらには「題名のない音楽会」などTV出演も果たすなど、幅広く活躍されています。川波さんの演奏は、

タンゴの魂を呼び覚ますかのよう。その卓越した技術と情熱的な表現で、聴く者を一瞬にしてタンゴの世界へと誘います。

ミュージックディレクター 菊池寿人率いるTSHBB。第一線で活躍するミュージシャンが集う特別なTSHBBの実力を存分に引き出すステージングは、他のビッグバンドとは一線を画し、まさに唯一無二のサウンドを生み出します。極上のエンタテイメントとして存分にお楽しみいただける、また多様な音楽と出会えるコンサートです。

ザ・シンフォニーホールで、古澤 巖、川波幸恵、そしてTSHBBが織りなす情熱的なタンゴの世界を心ゆくまでお楽しみください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

[演奏] The Symphony Hall Big Band
[スペシャルゲスト] 古澤 巖(ヴァイオリン)、川波幸恵(バンドネオン)

タンゴ・アモレ／エル・チョクロ／リベルタンゴ／ジェラシー
タキート・ミラタール／オブリビオン／アディオス・ノニーノ ほか

2025.5/28(水) 7:00PM
全席指定 7,500円 18歳以下3,300円(税込)
[お問い合わせ] 大阪アートエージェンシー 06-6372-4583
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



「ヴァイオリン」レイ・チェン

©Decca Records 2024

彼らは熱心でやる気に満ち、表情からも音楽を楽しんでいることが伝わってきます。おそらく仲間うちでは私のことをニックネームで呼んでいると思うのですが、私が練習場に入ると、それまでおしゃべりをしていたはずなのに急にシーンと

祭でユースオーケストラの音楽監督を務めています。ですので、毎シーズン少なくとも2つのユースオーケストラの指揮をしています。若い音楽家からはエネルギーや音楽を愛する喜びが伝わってきますね。

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

—— 若い音楽家と接する時に大切

なったりにして、それも若者らしくていいなと思っています。

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、シカゴ交響楽団など一流のオーケストラへ仕事で行くと「実はユースオーケストラにいた時にマエストロに指揮をしてもらいました」と話しかけてくれる楽団員が何人もいます。そんな時には、彼らの人生にプラスになったのだと喜びを感じます。やって良かった、もっと続けたい、そう思っています。

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲「レイ・チェンに期待」

—— プログラムの聴きどころを教えてください。

最初にカルロス・サイモンの新作を演奏しますが、私はこれまで

に彼の作品を10曲ほど演奏しています。新作もきつとエネルギーギッシュで皆さんの心をつかむと思いますよ。メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲はとても美しく、作曲家晩年の作品で円熟味を帯びています。レイ・チェンとは初めての共演ですが、非常に期待しています。ラフマニノフの交響曲第2番は後期ロマン派の詩的な交響曲ですが、作品の構造がしっかりしています。私は1997年から約10年間ロシア・マリインスキー劇場で首席客演指揮者を務めまし

たので、ラフマニノフの音楽は私の血潮となっています。きつと日本の聴衆に喜んでいただけるプログラムだと思います。

—— 最後にメッセージをお願いします。

私はザ・シンフォニーホールでこれまで2度指揮をしたことがありますが、とても素晴らしいホールです。何より、日本のお客様がとても素晴らしいので、私の夢はもっともっと日本で指揮をすることです。少なくとも年に1回、せめて隔年で来日したい。それくらい日本が好きです。私は2000年にマリインスキー劇場と初めて日本へ来ましたが、約25年の間に素晴らしいファンの方々との出会いがあり、仲の良い友達もできました。日本人の礼儀正しさ、親切さに接するのが好きです。音楽で心を通じ合えるのはとても素敵なことです。私はイタリア人なので食べることが大好きなのですが、イタリア料理と匹敵するものと言えは和食しかないと思っています。しゃぶしゃぶ、寿司、焼き鳥、鉄板焼き……。今回のツアーでも和食の素晴らしい堪能したいと思っています。NYOUSAのコンサートはエネルギーに満ちあふれ、音楽を愛する喜びが伝わってくると思いますので、皆さん、是非会いに来てください。

（取材文 出水奈美）



©2024 Chris Lee

[管弦楽] ナショナル・ユースオーケストラUSA

[指揮]ジャンンドレア・ノセダ [ヴァイオリン]レイ・チェン
[管弦楽]ナショナル・ユースオーケストラUSA

カルロス・サイモン：祝典序曲（ボストン交響楽団・カーネギーホール共同委嘱新作）
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
ラフマニノフ：交響曲第2番 ホ短調 op.27

2025. 7/24(木) 7:00PM

全席指定 S 8,000円 A 6,000円 B 3,000円(税込)

発売中

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

全米から選抜された若き精鋭たち
名匠ノセダが導く情熱の響き

Interview

[指揮] ジャンンドレア・ノセダ
Gianandrea Nosedà

©Stefano Pasqualetti

ジャンンドレア・ノセダ指揮
ナショナル・ユースオーケストラUSA
大阪公演

National Youth Orchestra of the United States of America

こみちゃんの 温故知シン《vol.14》

小味渕 彦之 (こみぶち ひろゆき / 音楽評論家)



長く日本のクラシック音楽界を牽引し、関西との縁もずいぶんとい前から育んできた指揮者の秋山和慶さんが1月26日に肺炎のため、84歳でお亡くなりになりました。今年の1月1日に自宅で転倒され、重度の頸髄損傷を負ったため治療に専念するとして、1月23日に音楽活動からの引退を表明した直後のことでした。

昨年12月25日に、秋山さんが指揮した、こみザ・シンフォニーホールで開かれた日本センチュリー交響楽団の第286回定期演奏会をお聴きになられた方も多いのではないのでしょうか。ブラームス《交響曲第3番》と亀井聖矢さんを迎えての同《ピアノ協奏曲第2番》を組み合わせたプログラム。同楽団で2020年4月以来、ミュージックアワードバイザーを務めていた秋山和慶さんの、結果的に大阪で最後のステージになつてしまいました(写真)。

秋山さんがザ・シンフォニーホールで初めて指揮したのは、ホールのオープンから1年が経とうとする1983年9月7日に開かれた「音楽生活40年記念横井和子ピアノ協奏曲の夕べ」だと思われます。オーケストラは大阪フィルハー

モニー交響楽団。ちょうど秋山さんが大阪フィルの首席客演指揮者として活躍していた時期に当たります。曲目はモーツァルト《オペラ「後宮からの誘拐」序曲》、《ピアノ協奏曲第20番》、ベートーヴェン《ピアノ協奏曲第4番》です。大阪の音楽界で大きな存在だった横井和子さんをサポートした演奏は「確かなコントロールによる柔軟な対応でサポートの実をあげた」(関西音楽新聞1983年10月号に掲載の大野敬郎氏の音楽評から引用)と評されました。その2ヶ月後にはホール主催のオーケストラシリーズに登場して、音楽監督・常任指揮者を務めていた東京交響楽団を指揮しています。プログラムはモーツァルト《オペラ「劇場支配人」序曲》、花房晴美さんのピアノでシヨパン《ピアノ協奏曲第1番》、そしてザ・シンフォニーホールの誇るオルガンを使つてのサン＝サーンス《交響曲第3番「オルガン付」》でした。

以来、何度もザ・シンフォニーホールの舞台で、見事な指揮でオーケストラから音楽を紡いだ秋山さん。1967年以来、大阪フィルでポジションを持ち、「秋山さんが振ると、大フィルが整然と演奏する」と70年

代の演奏に接した何人もの人から聞いた話です。このエピソードからわかるように、かつての秋山和慶という指揮者のイメージは、「斎藤指揮法の最上の体現者」という井上道義さんが語った通りの、「精確無比」「正確無比」ではなく、「そこ言葉がぴったりのものでした。そこに80歳を過ぎた頃から、ふくよかさと揺らぎが加わり、まさに巨匠の音楽が生まれ始めていたのです。唯一無二の音楽がそこにはありました。まだまだ、そんな音楽を聴かせてもらえらると思つていたのに、あまりに突然の旅立ちには本当に悔やまれます。そして、悲しい気持ちばかりが募ります。

柔和で優しい笑顔で誰にも接した秋山和慶さん。自らの本番の日に連れてきたお弟子さんを紹介するのに「僕らの仲間と一緒に指揮を勉強している○○君」という言い方をされる方でした。もちろん音楽に対する態度は真摯そのもので、指揮している時の目は決して笑っていない厳しい眼差しでした。安らかな眠りにつかれますよう、心からお祈りいたします。ありがとうございました。



0歳児からご入場できることで、家族のお出かけに大人気な「0歳児からの光と映像で楽しむ」オーケストラ。ゲストには、NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」で第11代目歌のお兄さんを務めただいすけお兄さん、こと横山だいすけさんが出演いたします。

だいすけお兄さんと行く、レストランへの音楽旅行

美食家・ロッシーニの歌劇「ウィリアム・テル」より、スイス軍の行進、レストランへの旅が始まり、「バナナの親子」「おおきななぐ」をだいすけお兄さんが歌い上げます。食後のデザートとドリンクには、チャイコフスキーのバレエ「くるみ割り人形」より「中国の踊り」(お茶)、アラビアの踊り「コーヒ」スペインの踊り「チヨコレート」をどうぞ。

レストランの外では大雨が降り、「雷鳴と稲妻」が鳴り響きます。でも雨が止んだら窓の外から爽やかな「にじ」が。みんなで楽しく歌ったら最後はおなじみの「ぼよん行進曲」で盛り上がりましょう。

会場には授乳室やおむつ替えスペース、ベビーカー置き場を完備していますので小さなお子様連れでも安心してご来場いただけます。

ゴールデンウィークの最終日はオーケストラの演奏を家族と一緒に楽しめるこのコンサートにぜひお越しください。

[指揮] 松元宏康 [ゲスト] 横山だいすけ [管弦楽] 大阪交響楽団

★…プロジェクションマッピングつき★…だいすけお兄さんが参加します

ロッシーニ 歌劇「ウィリアム・テル」序曲より「スイス軍の行進」★/バナナの親子♪/おおきななぐ♪/チャイコフスキー バレエ「くるみ割り人形」より「中国の踊り」「アラビアの踊り」「スペインの踊り」/J.シュトラウスII:ポルカ「雷鳴と稲妻」/中川ひろたかにじ♪/中西圭三 ぼよん行進曲♪/エルガー 行進曲「威風堂々」第1番★

2025.5/6(火・休) 午前の部 11:00AM / 午後の部 2:00PM
全席指定 4,000円(税込)

※大人・子供均一料金 ※乳幼児のお子様(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

発売中



巨匠オッコ・カム&神尾真由子とのオールシベリウスプログラム!

まるで祝祭のよう、と評され、大喝采を浴びる「さくらんぼコンサート」。この公演に訪れるたびに思うことがある。不思議なことに、他では体験できない幸福感に包まれるのだ。それは、来場者全員にプレゼントされる、山形のさくらんぼ、物産展、メンバー全員がさくらんぼブローチを付けて舞台上に登場する等、地域と結びついた独特の祝祭感に溢れているからだろう。

食と温泉の国のオーケストラ、山響は、シベリウス演奏の個性を磨いてきた楽団。創立名誉指揮者の村川千秋が手塩にかけて、交響曲全曲演奏などを繰り広げてきた伝統があるのだ。指揮台に登場するのはフィンランドの巨匠オッコ・カム79歳! 2018年の初客演以来、相思相愛の関係性を築き圧倒的なシベリウス演奏を披露してきた。大阪が生んだ名ヴァイオリニスト神尾真由子とのヴァイオリン協奏曲、交響曲第2番は正に、山響の真骨頂を体感できる絶好の機会だ。

大阪・関西万博が開幕する2025年は、山形にとっても特別な年。「さくらんぼ栽培150周年」なのだという。ザ・シンフォニーホールでシベリウスと山形の魅力と出会ってはいかがだろうか?

[指揮] オッコ・カム [ヴァイオリン] 神尾 真由子
[管弦楽] 山形交響楽団

シベリウス: 鶴のいる風景 op.44-2
シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.47
シベリウス: 交響曲 第2番 二長調 op.43

2025.6/20(金) 7:00PM
全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ] 山響チケットサービス 023-616-6607
[主催] 公益社団法人 山形交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

発売中

TheSymphonyHall × 関西4オケ *Pick Up* コンサート

日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団 第290回定期演奏会



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

[指揮]久石 譲
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ベートーヴェン:交響曲 第6番 へ長調 op.68 「田園」
久石 譲:交響曲 第2番

2025.6/13 (金) 7:00PM

全席指定 S 10,000円(特典付) A 7,000円 B 5,500円
C 4,000円 D 3,000円

[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

発売中



指揮 久石 譲

久石譲の音楽監督就任記念演奏会。自然の力強さや静けさを見事に表し、最後は聴衆に深い安らぎをもたらしてくれるベートーヴェンの交響曲第6番「田園」。それに対する久石譲の交響曲第2番は、自身の作曲の根幹を成すミニマルミュージックを基調としているものの、「自然の摂理や法則にできるだけ自分の曲を近づけること」を前提に、マラーよろしく自然に囲まれた場所に建てた「作曲小屋」で書かれた作品です。久石譲とベートーヴェン、異なる時代に描かれた自然への賛歌をお届けいたします。

大阪フィルハーモニー交響楽団

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 ベートーヴェン・チクルス～原点にして頂点～Ⅰ



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団

[指揮]尾高 忠明 [管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団
ベートーヴェン:バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲
ベートーヴェン:交響曲 第1番 八長調 op.21
ベートーヴェン:交響曲 第2番 二長調 op.36

2025.9/10 (水) 7:00PM

全席指定 A 6,000円 B 4,500円 C 3,500円

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

シンフォニア会員先行:7/17(木) 一般発売:7/22(火)

※セット券は5/13(火)より一般販売



指揮 尾高 忠明

2018年以来、7年ぶり2度目となる尾高忠明×大阪フィルのベートーヴェン・チクルス。尾高忠明音楽監督就任1年目のシーズンに行った前回のチクルスは「オーケストラと尾高が音楽の共通言語」を獲得するための「いわば出会いのチクルス」だった。あれから7年、ブラームス、ブルックナー、メンデルスゾーン…多くの演奏を重ねてきた。音楽監督8年目のシーズンを迎えた今回のチクルスは、両者の成熟した関係を感じさせる、より深化したものとなるはずだ。ぜひシリーズを通して聴いてほしい。

大阪交響楽団

第136回 名曲コンサート 「悦なる世界へ」



管弦楽 大阪交響楽団

[指揮]柴田 真郁 (ミュージックパートナー)
[ピアノ]戸村 奈央 (第52回 堺市新人音楽コンクール 最優秀受賞)
[管弦楽]大阪交響楽団

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェヘラザード」

2025.5/18 (日) 2:00PM プレトーク 1:45PM

全席指定 S 5,000円 A 4,500円

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団

発売中



指揮 柴田 真郁



ピアノ 戸村 奈央

ミュージックパートナー 柴田真郁の指揮で2025年度名曲コンサートが開幕します。リムスキー=コルサコフの「シェヘラザード」は演劇的な要素もあり、ドラマティックで起伏に富んだ音楽。定期演奏会ではオペラ演奏会形式シリーズを展開する柴田真郁と大阪交響楽団がどんな演奏を繰り広げるのか、お楽しみください。また第52回堺市新人音楽コンクール最優秀受賞者の戸村奈央が登場。劇的な旋律と力強いピアノリズムが織りなす壮麗なチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番をお贈りします。

関西フィルハーモニー管弦楽団

関西フィルハーモニー管弦楽団第356回定期演奏会 『アーティスティック・パートナー就任記念…リオとの美しき邂逅』



管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団

[指揮]リオ・クオクマン (関西フィル・アーティスティック・パートナー)
[ピアノ]五十嵐 薫子 [管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団
ショスタコーヴィチ:祝典序曲 op.96 [ショスタコーヴィチ没後50年記念] / ラフマニノフ:
バガニニの主題による狂詩曲 op.43 / リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェヘラザード」 op.35 (ヴァイオリン独奏:木村 悦子=関西フィル・コンサートマスター)

2025.6/22 (日) 2:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円
学生席(25歳以下) 1,000円 ※学生席は関西フィル事務局のみ取扱

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中



指揮 リオクオクマン



ピアノ 五十嵐 薫子

共演はあの日ただ一度だった…(2017年9月、デュメイ休演による急遽の代演)。記憶の片隅に光る、リオ・クオクマン伝説のタクト。鶴首された再登壇は急転直下、何と新アーティスティック・パートナーの立場として実現することになった。この美しき邂逅へ、絢爛豪華な音楽絵巻「シェヘラザード」(ヴァイオリン独奏…木村悦子)が彩りを添える。次代の逸材、気鋭のピアニスト五十嵐薫子が情熱的に描く「バガニニ・ラプソディ」、そして、リオとの新たな門出を祝う「祝典序曲」が堂々ラインナップを飾る、シーズンきつめの注目公演。



ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。

vol.68 秋山先生のたたずまい

指揮者の秋山和慶さんが急逝されました。ご自宅で転ばれたあと、活動休止の発表から引退。その直後の訃報。寂しさが募ります。

ちょうど1年前、ザ・シンフォニーホールで一緒しました。秋山さんの指揮、大阪市民管弦楽団の演奏、ラヴェル作曲『展覧会の絵』のナレーションで参加させてもらいました。このことについては以前にもここで触れていますが、今回は、初めて直接お会いしたマエストロについて書かせていただきます。

直前に小澤征爾さんが亡くなられたため、同門で後輩の秋山さんは新聞社の取材に追われていました。おのずと会話も、小澤さんや山本直純さんたちと活動していた若かりし日の思い出が中心になっていきました。

高校生だった時分によく観ていた日曜の朝のテレビ『題名のない音楽会』で、鮮明に覚えている一場面があります。4人の指揮者がかくし芸をしたり、ベートーヴェンの運命で指揮棒リレーをしたり。

「秋山先生、確か歌をうたっていらっしゃいましたよね」

「はい。確かサンタルチアかなんか。直立不動で歌った方が面白いからって岩城(宏之)さんが言うんで、東海林太郎さんみたいに歌ったんですよ。福田(一雄)さんは、サクソ。リハではちゃんと吹いたのに本番で音が鳴らない。おかしい。岩城さんが直前にサクソにみかんを入れちゃったんです。」

「そうでした。吹き終えて、サクソからみかんが出てきてみんなで大笑い。でも、あれ本番直前にこっそりやったんですか?演出かと思ってました」

「いえいえ、いたずらは全部、岩城さん。司会の黛(敏郎)先生が一番喜んでいました。あの放送を覚えていてくださったんですね。あれは楽しかったなあ」

巨匠、重鎮。しかし、初対面の私に一切の緊張感を与えない優しい物腰で楽しいお話を聞かせてくださいました。

齋藤秀雄先生の今わの際に立ち合い、「厳しくして悪かった。君は優しく指導するんだよ」。

その教えを守り、市民オケや学生オケとも垣根なく接し、音楽をする仲間として愛情を注がれた秋山先生。

どうぞ安らかに。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介!

堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシック知識を余すところなく語る30分。

ABC Radio
AM1008/FM93.3

毎週日曜日
あざ7時~7時30分

The Symphony Hall オリジナルスケジュール帳

ザ・シンフォニーホール 2025プランナー

タテ・ヨコ両方で使える便利なレイアウト

ヨコ向きなら

タテ向きなら

携帯するのに便利な
内ポケット&
ペンホルダー付き
※ペンや小物は付属しません

チケット購入時や
コンサート当日に使える
ホール座席表

数量限定

上品な質感、シックなカラーリングのカバー

ブルー

レッド

キャメル

ブラック

A6(文庫本)サイズ 全4色展開 **2,640円(税込)**

販売場所 館内チケットセンター 窓口(11:00~16:00 火曜定休)
館内プレイガイド(公演日の開場中~終演後)

お問合せ ザ・シンフォニーホール
TEL: 06-6453-1010(火曜定休) HP: <https://www.symphonyhall.jp>

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

春が近づくこの季節。何か新しいことに挑戦していきたいものですね。

そんな思いを掻き立てる、意欲溢れる公演をピックアップ!

今年で43回目を迎え、長きに渡り視覚障害者に寄り添ってきた

「盲導犬育成支援のための第43回日本ライトハウス チャリティコンサート」と、
マーラー愛から生まれた記念すべき第1回公演の「マーラー・ユーゲントオーケストラ・ジャパン 第1回演奏会」。
2団体の熱い演奏をお楽しみください。

MESSAGE

盲導犬育成支援のための第43回日本ライトハウス チャリティコンサート

盲導犬育成支援のための 第43回日本ライトハウス チャリティコンサート

[指揮] 澤 和樹
[ピアノ] 梯 剛之
[管弦楽] 千里フィルハーモニア・大阪
[吹奏楽] 大阪市立堀江中学校
ベートーヴェン:
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
ラフマニノフ:
交響曲 第2番 ホ短調 op.27
協賛:大阪城東ロータリークラブ

2025.6/15(日) 1:30PM(終演4:00PM)
当日指定:4,000円
アミティ(視覚障害者招待のための協力券) 1枚1,000円

[お申し込み・お問い合わせ]

日本ライトハウス募金事業部
TEL.06-6968-1030(平日9:00~17:00)
FAX.06-6968-2059



ピアノ 梯剛之



指揮 澤和樹
管弦楽 千里フィルハーモニア・大阪

音楽の力で視覚障害者を支援。あなたの愛で未来を拓く。
目が見えない・見えにくい人を助ける盲導犬の育成支援のため
のチャリティコンサートは、おかげさまで今年で43回目となります。
今回の出演は、お馴染みの澤和樹氏の指揮で、管弦楽は千里
フィルハーモニア・大阪によるラフマニノフの「交響曲第2番」を、
そしてピアノに梯剛之氏を迎えてベートーヴェンの「ピアノ協奏曲
第5番皇帝」を、賛助出演で大阪市立堀江中学校吹奏楽部の皆
さんの若々しい演奏と、多彩なプログラムでお楽しみいただきま
す。会場では盲導犬たちとの触れ合いやチャリティグッズの販売
も予定しています。
同コンサートにご来場いただくことによって、入場料の売上げ
が盲導犬育成のためのチャリティとなります。一人でも多くの方
に盲導犬が行き渡りますよう、皆さまの温かいご支援をお願いす
るとともに、ぜひ同コンサートにご来場くださいますようお願いす
一同お待ち申しあげております。

MESSAGE

マーラー・ユーゲントオーケストラ・ジャパン 第1回演奏会

マーラー・ユーゲントオーケストラ・ジャパン 第1回演奏会

[指揮] 河崎 聡
[管弦楽] マーラー・ユーゲントオーケストラ・ジャパン

吉松隆:「鳥たちの祝祭への前奏曲」
マーラー:交響曲 第5番 嬰ハ短調

2025.7/7(月) 7:00PM

前売: 2,500円(税込)
当日: 3,000円(税込)

[お問い合わせ]

大阪アーティスト協会
06-6135-0503

[ご予約]

ザ・シンフォニーチケットセンター
06-6453-2333

マーラーに拘りぬいた
オーケストラ誕生!

マーラーの言葉に「伝統と
はその燃え尽きた灰を崇拜
することではなく、その燃や
した炎を受け継ぐことだ」
というのがある。今回の新し
いオーケストラ「マーラー・
ユーゲントオーケストラ・ジャ
パン」は、河崎聡がこれまで
に「マーラー」「復活」などで3
度共演した中務晴之と音楽
的な高い志に共鳴し、信頼関
係が深まった二人のマーラー
愛から誕生し、全国各地の
オーケストラの首席奏者、フリーの演奏家たちを中心に構成さ
れている。マーラーの誕生日7月7日に開催する第1回演奏会
では「交響曲第5番」を取り上げる。また、組み合わせられる吉松
隆作品では、その心に染み入る繊細さ、スケールの大きさ、開放
感、そして何よりも日本の美を強く感じさせてくれる繊細で豊
かな感情表現を描き上げる。マーラーと吉松隆、人間の理性と
感性のとても深い部分を刺激する二人の作曲家の名曲が、安
価で聴けるという最高のステージになりそうだ。

指揮 河崎 聡